



News Release

2023年8月1日

日本製鉄株式会社

日鉄テックスエンジ株式会社

NSハイパーツ株式会社

スチールハウス工法による省エネ・高断熱（住宅断熱等級6相当）事務所が竣工

日本製鉄株式会社（以下、日本製鉄）およびNSハイパーツ株式会社（以下、NSハイパーツ）が共同で開発した独自のスチールハウス工法である「NSスーパーフレーム工法®」について、日鉄テックスエンジ株式会社（以下、日鉄テックスエンジ）が和歌山県内で建設を進めていた省エネ・高断熱事務所が、このたび竣工しました。当該事務所は、業界トップ水準の断熱材を用いたハイブリッド断熱手法（外張り断熱+充填断熱）を採用することで、鉄骨造で品確法住宅の断熱等級6相当（*1）を実現するとともに、Nearly ZEB（*2）の認証を取得しています。

（*1）断熱等級6：建築物省エネ法で2025年に義務付けられる省エネ基準に対応する断熱等級4、2030年までに義務付けが予定されているZEH・ZEB基準に対応する断熱等級5を更に上回る断熱性能。

（*2）Nearly ZEB：年間の一次エネルギー消費量が正味ゼロまたはマイナスであるZEBに限りなく近い建築物として、外皮の高断熱化及び高効率な省エネルギー設備を備え、再生可能エネルギーにより年間の一次エネルギー消費量をゼロに近付けた建築物。

日本製鉄は2022年11月、社会におけるCO₂排出量削減に寄与する高機能製品・ソリューション技術を総称するブランドとして「NSCarbolex® Solution」を立ち上げました。

「NSスーパーフレーム工法」は、「NSCarbolex Solution」の対象商品であり、外張り断熱・通気工法を標準採用する事で、高い省エネ性を実現しており、使用時に排出するCO₂を削減することができます。また、高耐食めっき鋼板「スーパーダイマ®」の使用により、品確法の劣化対策等級最高ランク（*3）の長寿命化に対応すると共に、構造躯体が軽く基礎を簡易にすることで、使用する建設資材の削減によるCO₂の削減が可能です。

（*3）劣化対策等級3：3世代対応の耐用年数75～90年

省エネ基準、ZEH・ZEB基準への適合義務化の動きを受け、「NSスーパーフレーム工法®」への注目が集まっており、社宅・寮・事務所・保育所・賃貸住宅・高齢者施設等さまざまな用途での採用実績が増えています。

日本製鉄、日鉄テックスエンジ、およびNSハイパーツは、「NSスーパーフレーム工法」を通じて、カーボンニュートラル社会の実現に貢献していきます。

（参考）NSCarbolex Solution

NSCarbolex Solutionは、社会におけるCO₂排出量削減に寄与する高機能製品・ソリューション技術を総称する日本製鉄のブランドです。

<https://www.nipponsteel.com/product/nscarbolex/solution/>



Make Our Earth Green



NET ZERO

【物件概要】

- ・物件名 : 株式会社スミエイ 本事務所 (和歌山市)
- ・施主 : 株式会社スミエイ
- ・設計施工 : 日鉄テックスエンジ
- ・工期 : 2023年1月着工、同年7月竣工
- ・工法 : NSスーパーフレーム工法 (薄板軽量形構造) 3階建
- ・延床面積 : 597.45 m²
- ・省エネ性能 : 高効率設備 (BEI : 0.47)、創エネ (太陽光 400W×49 枚)、外皮性能 (BPI : 0.78) Nearly ZEB を実現した省エネ事務所
- ・断熱仕様 : ハイブリッド断熱=外断熱 (スタイロフォーム TMHP) + 充填断熱 (グラスウール) 品確法 住宅の断熱等級6相当を実現



以上

(お問い合わせ先)

プレスリリースに関して

日本製鉄 広報センター

TEL : 03-6867-2146

日鉄テックスエンジ 広報グループ

TEL : 03-6860-6612

NSスーパーフレーム工法に関して

日本製鉄 薄板営業部

TEL : 03-6867-5323

NSハイパーツ

TEL : 0574-42-8802

Make Our Earth Green



NIPPON STEEL
Green Transformation
initiative

NET ZERO